

看護管理者・人事担当の方等へ



WEBアンケートへのご協力をお願い



ご参加いただいた方に
Amazonギフト券
1,000円 進呈



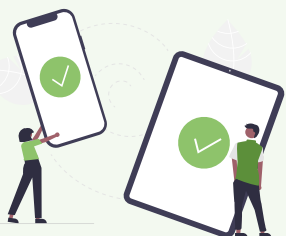
潜在看護職の 復職支援に関する実態調査

この調査は、潜在看護職(おおむね3か月以上の就業ブランクのある看護職)の復職支援に関する採用側のニーズを把握するための無記名インターネット調査です。

対象

潜在看護職を採用している施設・事業所の看護管理者

※ 看護管理者がいない場合は、看護職の採用試験・選考に携わっている職員の方(看護職以外の職種の方でも構いません)のご協力をお願いします。



回答期限

2023年 2月20日(月)
23:59 まで

所要時間
約20分



- 厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業)「潜在看護職の復職に係る実態把握及び効果的な支援方策の検討」(課題番号22IA1301)
- 研究代表者:武村雪絵(東京大学医学部附属病院)

裏面「研究説明文書」も必ずご確認ください。

以下アドレスまたは、QRコードよりサイトにアクセスし、ご参加ください。

アンケート
ご参加は
こちらから

https://questant.jp/q/fukushoku_mg

*アンケート内でご入力いただいたメールアドレスに
謝礼付与のご案内をお送りします。



本件に関するご質問・ご意見・お問い合わせは、以下までご連絡ください。

Eメール ▶ kangkanri-group@g.ecc.u-tokyo.ac.jp TEL ▶ 03-5841-3524 FAX ▶ 03-5841-3376

連絡担当者:「潜在看護職の復職に係る実態把握及び効果的な支援方策の検討」事務局(東京大学大学院医学系研究科看護管理学分野) 特任研究員 高橋好江

研究機関/研究者

東京大学医学部附属病院看護部(〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1) 研究責任者:看護部長 武村雪絵

研究説明文書

1. 本研究の概要

本研究は、潜在看護職を採用されている医療介護施設の職員の方にお答えいただく無記名のWebアンケート調査です。

対象:潜在看護職を採用している医療介護施設・訪問看護事業所の看護管理者の方、または、看護職の採用試験や選考に携わっている職員の方(看護職以外の職種でも構いません)

調査期間:承認日～2024年3月31日(研究期間:5年間)

内容:年齢や性別などの基本属性、これまでの潜在看護職の採用歴、復職する看護職に受けてほしい研修内容、潜在看護職の受け入れ・定着のために自施設で取り組んでいること等

所要時間:約20分

【研究目的】

本研究は、潜在看護職が個別の状態とニーズに応じた学習を自ら組み立て、取り組むことのできる新しい復職支援プログラムを提案するために、復職支援における看護職及び求人施設のニーズを把握することを目的としています。

【参加方法】

- 研究説明と研究参加同意:スマートフォンやパソコンで調査ウェブサイトアクセスし、本用紙の研究説明文書をお読みの上、研究参加に同意される方は「同意する」にチェックします。
- 回答:各設問に回答後、謝礼を受け取るためのメールアドレスを入力し、回答送信ボタンを押します。
- 研究者からのメール連絡:研究者から1,000円分のAmazonギフト券(E-mailタイプ)を受け取るためのメールが届きます。また、アンケートでインタビューに「協力してもよい」と回答した方には、後日研究者からインタビュー調査のご案内メールが届きます。

2. 研究参加の任意性

この研究にご参加いただくかどうかは、あなたの自由な意思で決めることができます。研究にご参加いただけない場合にも、あなたの不利益につながることはありません。また、あなたの参加の有無が他の方に知られることはありません。同意の意思表示をした後でも、回答を途中で中止することが可能です。ただし、回答送信後の同意撤回はできません。

3. 個人情報の保護

本研究で収集される情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう慎重に取り扱います。謝礼とインタビュー調査のご案内を送付するため、許可を得た上でメールアドレスを取得しますが、回答はメールアドレスと切り離して集計するため、個人が特定されることはありません。メールアドレスを入力したデータファイルは、謝礼の受け取り確認後2週間程で削除いたします。それまで、パスワードロックをかけて保存し、東京大学大学院看護管理学分野内の施設できる個室の鍵付きキャビネット内で厳重に管理します。

4. 研究結果の公表

研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌等で公表します。国内外の学術雑誌での公開にあたっては、研究成果の第三者による検証や複数の研究の結果を統合して統計的に検討する際の原資料となることもあるため、解析・論文作成に用いた資料を学術雑誌社・学会(誌)へ提供・公開すること、また保管されることがあります。本研究は、どなたが調査に協力したかがわからない状態で解析するため、調査結果をご協力いただいた皆様に個別に送付する予定はございません。

5. 研究参加者にもたらされる利益及び不利益

この研究が、皆様に直ちに有益な情報をもたらす可能性は高いとはいえません。しかし、この研究によって、潜在看護職が個別の状態とニーズに応じた新しい復職支援プログラムを提案するための資料を得ることができ、看護職のキャリア継続、及び、看護人材確保と領域別・地域別偏在の是正に貢献できると考えます。また、アンケートに最後までご回答いただいた方には、謝礼としてAmazonギフト券1,000円分が進呈されます。一方で、皆様には参加に際して20分程度の時間的負担をおかけすることになります。

6. 研究終了後の資料の取り扱い方針

この研究で得られたすべての情報・データは、原則としてこの研究のためにのみ使用します。回答を入力したデータファイルは、外付けハードディスクに保存して施設できる個室で管理し、研究結果の公表後10年間保存の後、適切な方法で破棄します。

7. あなたの費用負担

今回の研究に必要な費用について、あなたに負担を求めることはありません。ただし、調査ウェブサイトへのインターネットアクセスに必要な通信料はご負担いただきます。

8. 研究から生じる知的財産権の帰属

本研究の結果として何らかの知的財産権が生じる可能性がありますが、その権利は研究機関及び研究従事者などに属し、皆様はこの知的財産権等を持ちませんのでご了承ください。

9. その他

本研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。なお、本研究に関する費用は、令和4年度厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業)「潜在看護職の復職に係る実態把握及び効果的な支援方策の検討のための研究」、及び東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻看護管理学分野の運営費から支出されています。本研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。

本研究に関してご意見、ご質問等がございましたら、お気軽に下記までお寄せください。

研究機関名および研究者

研究機関 : 東京大学医学部附属病院看護部

研究責任者: 看護部長 武村雪絵

連絡担当者: 高橋好江(東京大学大学院医学系研究科看護管理学分野 特任研究員)

Eメール: kangokanri-group@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 TEL:03-5841-3524 FAX:03-5841-3376